

IMAGINE THE FUTURE.

GUIDE

BOOK

2027

AC入試・特別入試

P.02 AC入試

P.04 国際バカロレア特別入試

P.04 国際科学オリンピック特別入試

P.05 海外教育プログラム特別入試

P.05 研究型人材入試



筑波大学
University of Tsukuba

2027年度 学群・学類の定員と募集人員

学群	学類・専門学群	入学定員	個別学力検査等				推薦入試	アドミッションセンター入試	国際バカロレア特別入試		国際科学オリンピック特別入試	海外教育プログラム特別入試	研究型人才入試	外国学校経験者特別入試		留学生等プログラム特別入試 ^{*2}	学際サイエンス・デザイン専門学群入試
			前期日程			後期日程			7月募集	10月募集				【第1種】 私費外国人留学生等長期就学者	【第2種】 帰国生徒等短期就学者		
			(総合選抜)入試区分別	(総合選抜)入学者の2年次受入予定人数	(学類・専門学群選抜)												
人文・文化学群	人文学類	120	30	45	20	15	5	若干					5				
	比較文化学類	80	20	35		16	5	若干					4				
	日本語・日本文化学類	40	10	10		14	3	若干							3		
社会国際学群	社会学類	80	20	40		16		若干							4		
	国際総合学類	80	20	36		20		若干							4		
人間学群	教育学類	35	4	20	2	7		若干	若干				1	1			
	心理学類	50	6	26	3	12 ^{*1}		1	若干				1	1			
	障害科学類	35	4	16	2	11		若干	若干				1	1			
生命環境学群	生物学類	80	20	18	12	22	3		若干				若干	若干	5		
	生物資源学類	120	23	49	15	27			若干				若干		6		
	地球学類	50	13	21	4	10			若干					2	若干		
理工学群	数学類	40	10	20		8			若干					2			
	物理学類	60	15	20	8	14			若干					3			
	化学類	50	13	23		12			若干	若干				2			
	応用理工学類	120	30	49	19	16			若干							13	
	工学システム学類	138	35	56	20	20			若干				若干				
	社会工学類	120	30	60	12	12			若干					6			
情報学群	情報科学類	86	22	40		12	8		若干	若干			4	若干			
	情報メディア創成学類	54	16	20		10	5		若干	若干				3			
	知識情報・図書館学類	100	40	16		32	5		若干					7			
医学群	医学類	98	5	44 地域枠 ^{*3}		44 地域枠 ^{*3}			3			2	若干				
	看護学類	70	2	37		28			若干						3		
	医療科学類	37	10	12		10			若干					5			
体育専門学群	240			130		90	8		若干					12			
芸術専門学群	100		5	45	10	35			若干					5	若干		
学際サイエンス・デザイン専門学群	40															40	
合計		2,123	403	888	127	513	42	4+ 若干	若干	2	若干	66+若干	38+若干	40			

*1 人間学群心理学類の推薦入試は、大学入学共通テストを課します。

*2 「学群英語コース特別入試」「Japan-Expert (学士) プログラム特別入試」「地球規模課題学位プログラム (学士) 入試」「総合理工学位プログラム (学士) 入試」を合計した数を示します。

*3 地域枠については、国との協議によって、募集の有無及び定員が確定次第、本学ホームページにて公表します。

AC入試（アドミッションセンター入試）

- ☑ 自己推薦型（書類＋面接）の入試です。
- ☑ 自分で課題を見つけ、解決する能力を評価します。
- ☑ 現役生、過年度生、社会人。大学入学資格を持つ方を広く対象としています。

【過去の実績】

	募集人員	志願者数	合格者数
2026年度	42人	343人	36人
2025年度	43人	361人	39人
2024年度	45人	318人	47人
2023年度	45人	306人	41人
2022年度	45人	247人	41人

● アドミッション・ポリシー

志願者の主体的で継続的な取り組み（最近2年間、又はそれ以上の長期間にわたるもの）から「問題解決能力」を評価します。この入試の合格者にふさわしい志願者がいないと判断した場合は、募集人員どおりに合格者を決定することにはせず、個別学力検査等（前期日程）の募集人員によって、その人員を充足します。以下の各学類・専門学群のアドミッション・ポリシーと併せて評価します（最新のアドミッション・ポリシーは学生募集要項で確認してください）。

● 自己推薦資料テーマ例

近年のAC入試で合格した先輩たちの自己推薦資料テーマです。AC入試は今まで行ってきた活動や研究に基づく自己推薦内容を評価する入試です。これらの例にとらわれず、思い切ってチャレンジしてみましょう。

● 第1次選考（書類審査）

次の書類を審査し、第1次選考合格者を決定します。

調査書	志願の理由を800字以内で所定の様式に記述してください。
志願理由書	あなたがこれまで主体的に、そして継続的に取り組んできた活動や研究の内容をもとに、自分の「問題発見・解決能力」を提示してください。また、大学でどのように学びたいのかを具体的に記述してください。分量・様式は自由です。
自己推薦書	
自己推薦書の根拠となる資料	これまでの活動や研究の過程で生まれたレポートや作品、制作物、賞状や証明書、活動の過程を記録したノートなどのコピーや写真を、自己推薦書本文の内容を補完する資料として添付することができます。

● 第2次選考（面接・口述試験）

第1次選考の合格者に対し、30分程度の個別面接を実施します（必要に応じて延長される場合があります）。あなたが「自己推薦書」などで示したことを、あなた自身の言葉でさらに詳しく説明してください。大学で学びたいことについてのこれまでの学習状況などを具体的に話してください。

実施学群・学類	アドミッション・ポリシー	募集人員	自己推薦資料テーマ例
人文・文化学群	人文学類	5	<ul style="list-style-type: none"> 「消失の都市史」を読み解く 郷土の歴史文化の多面的研究 信夫盆地の石碑調査 討論離れの哲学的分析
	比較文化学類	5	<ul style="list-style-type: none"> 宗教・思想・科学を横断する死生観の文化的探究 三島由紀夫一表象としての「海」 男性俳人による女性俳人の句の鑑賞に存在するジェンダーバイアスの実態とその解決 現代社会における音楽フェスティバルの在り方をめぐって
	日本語・日本文化学類	3	<ul style="list-style-type: none"> 作風の変遷—類出語と感情分析の組み合わせによる検証 河童のイメージの変遷から見る水に対する認識の変化
生命環境学群	生物学類	3	<ul style="list-style-type: none"> スズメバチの乗っ取り行動に関する研究 ツバメの子育てに関する研究と保全 朝顔の開花に関する研究 ヤブガラシの生態
情報学群	情報科学類	8	<ul style="list-style-type: none"> ARグラスによる言語媒介ツールの開発 JAVAとセキュリティに関連したシステムの開発 VLMを活用した自己回復システム・自立視点操作システムの研究 自然言語処理の評価に関する研究 サッカーの自動シーン分類を行うタスクについての研究 自律型水中フロートと魚類自動分類システムの開発
	情報メディア創成学類	5	<ul style="list-style-type: none"> VR酔いの検知における血中濃度の活用について 吃音者の発話自立性支援アプリの開発 VRを用いた熱力学の教育における視触覚デバイスの開発
	知識情報・図書館学類	5	<ul style="list-style-type: none"> Wikipedia管理者としての実践 将棋を通じた「権威バイアス」メカニズムの解明 図書館、博物館、公文書館の連携、統合の考察
体育専門学群		8	<ul style="list-style-type: none"> 判断速度の可視化によるプレー成功率、シュート決定率の向上 ボルダー競技のパフォーマンス向上のための分析と実践 パフォーマンス構造モデルを用いたトレーニングと感覚の言語化を通じたスピードスケート競技力の向上 400mハードル走曲走路のハードリング改善の試み モダンダンスが子どもに与える影響と社会におけるモダンダンス

活躍する先輩たち

何かに打ち込んだ経験を

アピールできるAC入試



株式会社アップストリーム CTO

小西 響児さん

情報学群 情報メディア創成学類 2011年3月卒業

アップストリームのメンバーと(小西さん:左から二番目)
普段は全員がフルリモートで働いています高校時代はパソコンいじりに夢中
受験勉強には身が入らず

高校の決められたカリキュラムをこなすような、いわゆる受身の授業には興味を持たず、熱心ではありませんでした。一方で、化学部の活動や生徒会活動など、自分がやりたいと思ったことには意欲的に取り組んでいました。とくに夢中になっていたのがパソコンです。パソコン好きの友人たちとの情報交換は日常茶飯事、当時人気だったアップルの音楽プレーヤーiPod(アイポッド)をもっと使いたくしたいとプラグイン開発に没頭したりしていました。

iPodの内部仕様は公開されていないため、挙動を一つひとつ解析しながら進めていき、いろいろな音楽ソフトで快適に動かすためのソフトウェアを開発するといった感じです。それをネット上で公開すると便利だとみんな喜んでくれて、それがうれしくてモチベーションになりました。もっとこうしたらいいとか、こんな機能もつけたら海外の開発者とも交流が広がっていき、学校から帰ったら深夜までパソコンに向き合っていました。

そんな調子ですから受験勉強にはまったく身が入りません。そんなときに、友人から「筑波大学には自分が打ち込んだことをアピールできるAC入試があるよ」という話を聞き、興味を持ちました。

模擬授業の面白さに感激して
情報メディア創成学類を志望

高校3年の夏、筑波大学の学校説明会に参加しました。入試担当の先生との面談でパソコン活動について話したところ、先生の反応が良く、自分のやってきたことは評価されるのかもしれないという手ごたえを感じました。それでも、生徒会活動などのほうがアピールポイントとしてふさわしいのではないかという迷いもあり、思い悩みましたが、自分でソフトウェアを開発して多くの人の不便を解消したというアイポッドのソフトウェア開発エピソードのほうが「問題解決能力」を重視しているAC入試にはふさわしいだろうという結論を出しました。自己推薦書や面接では、自分がどういった動機で始め、具体的にどんなことに取り組んだのかといったことをアピールしました。リバースエンジニアリングとってアイポッドの中身を解析するのはそれなりに難易度が高く大変な作業だったので、それをやりとげた探求心や粘り強さを評価してもらえたのではないかと思います。

学部選びは、パソコンやコンテンツに興味があったので情報メディア創成学類が自分には合っているのではと思っていました。その気持ちを後押しするよう

に、説明会で模擬授業を受けると、心の底から面白いと感激させられ、目指すならこしかなないと志望学部が明確になりました。

AC入試は、私のその後の人生を大きく切り開いてくれました。人と同じことができなくても、何かに打ち込んだことがある高校生にとって、大きなチャンスを与えてくれる入試だと思います。

大学で没頭したインターネット生中継が
現在の仕事につながった

入学後は、学生宿舎に入りました。以来、大学の仲間たちととことん刺激合う毎日でした。私自身、何か新しいことをやって周りの人たちにすごいっていわれたいという欲求が強かったのですが、私以上にみんなアグレッシブ。「最近、何やってるの?」「今、こんな作ってるんだ」という会話があちこちで飛び交い、常に面白いことをやっていないと置いていかれるようなプレッシャーがあり、それがいい刺激となっていました。

大学1~2年生の頃は、学園祭の実行委員会に所属し「学園祭のインターネット生中継」に没頭しました。当時はまだ今のYouTubeライブのような動画をネット配信できるプラットフォームはありませんでしたから、自分たちでサーバーを立てて、大容量の映像データをいかにリアルタイムで安定して配信するかという技術開発にのめり込みました。

大学3~4年生では、先輩に誘われて大学発ベンチャーの立ち上げに参加。図書館の貸出履歴を活用したコミュニケーション促進ソフトや、学術誌の著作権ポリシーを管理するデータベースなどの受託開発に携わりました。そのまま大学院に進み、会社と研究の二足のわらじを続けていたのですが、やがて会社を継続させることの難しさを痛感し、持てる技術をビジネスとして成立させる仕組みを学びたいと考え、新規事業開発に強い株式会社リクルートにインターン技術者として参加。新規事業開発の手法や考え方に触れ、感銘を受けました。その後、新卒入社し、希望通り新規事業専門の部署へ配属されました。入社して3年ほど経ったある日、同じ部署にいた同僚(アップストリームの社長で共同創業者)から「一緒にテレビ放送のネット配信をしてみないか」と誘われ、2018年にアップストリームを立ち上げたのです。

現在、創業8年目。事業は順調に伸びており、社員30人ぐらいの規模になりました。筑波大学卒の社員もいます。大学での学園祭のネット配信の経験はもちろん、ネットワークや通信の知識など、大学で学んだすべてが今の仕事に生きています。

国際バカロレア特別入試

全学で実施



筑波大学では、国際バカロレアにかかる活動を支援するとともに、探究心をもって主体的に学び、信念をもって物事に挑戦し、世界的に活躍できる人材を育成するための入学試験として、全学で国際バカロレア特別入試を実施します。

● アドミッション・ポリシー

国際バカロレア資格を取得した者を対象として、主体的に学ぶための知識や思考力、明確な目標をもって学ぶ意欲、また、語学力を含めたコミュニケーション能力などを重視して入学者を選抜します。



国際バカロレア
「10の学習者像」

国際バカロレア資格を取得したものを対象とした7月募集と、国際バカロレア資格を取得した者及び取得見込みの者を対象とした10月募集の、2回の入試を実施します。7月募集に出願した者は10月募集に出願することはできません。

【2026年度合格者出願先】

社会学類、国際総合学類、教育学類、障害科学類、生物資源学類、物理学類、医学類、看護学類、医療科学類、体育専門学類、芸術専門学群

【過去の実績】

	7月募集		10月募集	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
2026年度	15人	5人	52人	11人
2025年度	6人	1人	47人	12人
2024年度	9人	3人	36人	7人
2023年度	15人	6人	27人	7人

7月募集

対象	国際バカロレア資格を取得した者
選抜方法	第1次選考／書類選考 第2次選考／面接・口述試験
出願期間	7月上旬～7月中旬
第1次選考合格発表	8月上旬
第2次選考	8月下旬
第2次選考合格発表	8月下旬
募集学類	●教育学類 ●心理学類 ●障害科学類 ●医学類

10月募集

対象	国際バカロレア資格を取得した者及び取得見込みの者
選抜方法	第1次選考／書類選考 第2次選考／面接・口述試験、小論文、実技等 (学類・専門学群ごとに設定)
出願期間	9月下旬～10月上旬
第1次選考合格発表	11月上旬
第2次選考	11月下旬
第2次選考合格発表	12月中旬
募集学類	学際サイエンス・デザインを除くすべての学類・専門学群

詳細は、筑波大学のホームページをご覧ください。

国際科学オリンピック特別入試

世界の科学技術をリードする人材をめざして

世界中の中等教育課程にある生徒（日本では主に高校生）が参加する、世界的な科学技術コンテストである「国際科学オリンピック」。

国際科学オリンピック特別入試は、同大会に日本代表として選抜された人、代表選考などで一定の成績を収めた人が対象となる入試です。明確な目的を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を、従来の試験とは違う観点から評価します。

● アドミッション・ポリシー

国際科学オリンピックに出場した者、またはその代表者選考会等において一定の成績を収めた者を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価して選抜します。

入試概要

【過去の実績】

	志願者数	合格者数
2026年度	3人	2人
2025年度	5人	2人
2024年度	1人	1人
2023年度	3人	1人
2022年度	3人	2人

募集学類

●化学類 ●情報科学類 ●情報メディア創成学類

対象となるオリンピック

●化学 ●情報 ●その他

選抜方法

エントリーシートの内容に基づいて、15分程度の個別面接により行います。

各学類の出願要件は募集要項で確認してください。

海外教育プログラム特別入試

医学群医学類で実施

筑波大学では、海外留学を支援するとともに、探究心をもって主体的に学び、信念をもって物事に挑戦し、世界的に活躍できる人材を育成するための入学試験として、帰国生徒や私費外国人留学生を対象とした海外教育プログラム特別入試を実施します。対象は、アビトゥア、普通バカロレア、GCE Aレベル、SAT、APを履修・受験した者です。

募集学群・学類、募集人員

医学群医学類：2名

選考方法

■第1次選考

出願時に提出された各教科の成績評価や書類等により、第1次選考合格者を決定します。

■第2次選考

第1次選考の合格者に対して面接・口述試験を行い、提出書類等の内容を含めて総合的に判定します。

【過去の実績】

	志願者数	第1次合格者数	合格者数
2026年度	12人	3人	1人
2025年度	13人	2人	1人
2024年度	10人	3人	1人
2023年度	13人	2人	0人
2022年度	18人	4人	1人

アドミッションポリシーや出願資格の詳細については、募集要項で確認してください。

研究型人材入試

医学群医学類で実施



筑波大学では、自然科学において自ら発見した課題に対し、主体的かつ継続的に取り組み、その結果、到達した高い成果を評価する新たな入学者選抜を実施します。対象は、日本学生科学賞等で優秀な成績を収めた者、国際科学オリンピック等で優秀な成績を収め、自らも研究を行った者等の中で、将来研究者を目指す者です。

● アドミッション・ポリシー

広い基礎学力に加えて、自ら発見した自然科学の課題に対し、自主的かつ継続的に取り組み、その結果、到達した高い成果を評価します。また、医学を志向する動機、修学の継続性、研究者としての適性・資質、社会的適応力等総合的な人間性についても評価します。

募集学群・学類、募集人員

医学群医学類：若干名

対象となるコンテスト等

①日本学生科学賞、高校生科学技術チャレンジ、科学の芽賞において一定以上の成績を収めた者、②国際科学オリンピックや科学の甲子園において一定以上の成績を収め、理系の研究を行った者、③理系の学術論文を執筆した者、④番号①と同等又はそれ以上の優れた理系の研究を行った者（詳細は募集要項を参照）。

【過去の実績】

	志願者数	第1次合格者数	第2次合格者数	合格者数
2026年度	3人	1人	0人	0人
2025年度	3人	1人	1人	0人
2024年度	3人	1人	1人	0人
2023年度	6人	3人	2人	0人
2022年度	7人	4人	1人	1人

選考方法

■第1次選考

出願時に提出された書類等により、第1次選考合格者を決定します。

■第2次選考

第1次選考合格者に対して面接・口述試験および適性試験を行い、提出書類の内容を含めて総合的に判定します。

■最終選考

第2次選考合格者のうち、大学入学共通テストの得点が原則として8割以上の者を合格とします。

1年生から
研究できる!

先導的研究者体験プログラム (ARE)

筑波大学には、入学後いつでもやりたい研究ができる環境があります!



先導的研究者体験プログラム (ARE) は、全学群の1～3年生が応募できる研究活動支援プログラムです。研究計画書を提出し、採択されれば、研究活動をスタートすることができます。スーパーサイエンスハイスクール (SSH) での研究活動、理科や探究学習における自主的な課題研究など、大学入学前から研究を行ってきた人はもちろん、大学進学後には早くに研究を体験してみたいと考えていた人も、文系・理系を問わず応募してください。

【過去5年間の申請および採択件数】

	申請数	採択件数
2025年度	65件	63件
2024年度	48件	43件
2023年度	69件	59件
2022年度	52件	42件
2021年度	63件	58件

詳しくはWebをご覧ください。

<https://www.are.tsukuba.ac.jp>

AC入試 Q&A

Q. AC入試の選考で重視されるのはどんなことですか

A. 志願者の問題発見・解決能力を、最も重視します。

提出された自己推薦資料の内容をもとに、志願者の主体的・継続的な活動の中で、どのような問題の発見と解決があったのかを評価します。その際、活動の実績そのものを重視するのではなく、志願者がどのような工夫によってその実績を上げたのか、また、その実績をどのように認識しているのかを重視します。すなわち、結果に至る過程や、活動の「質」が重要になります。また、志願者が大学で学びたいことが、志願する学類・専門学群で学習可能か、志願先の研究教育内容と志願者の目的が合致しているか、ということも重視します。人物評価の入試ではありません。

Q. 問題発見・解決能力のある人とは、具体的にどういう人ですか

A. 主体的な興味や関心から、自分自身の問題意識を育て、その解決に向けて独自の視点から工夫や努力を続けている人です。

例えば、物理や化学の実験、歴史の研究、生物の観察などを続ける過程で、自分自身の問題意識をもち、さまざまに工夫しながらその問題に取り組んできた人です。また、生徒会活動、課外活動、ボランティア活動などの中で独自の問題意識を育て、解決に向けて工夫を続けてきた人です。このような人には「主体的に学ぶ力」という大切な学力が備わっていると考えられます。AC入試では、志願者がそうした活動を続ける中で、何をどう考え、どう行動したのかを評価します。過去の合格者の自己推薦内容はwebページでも公表しています。

<https://ac.tsukuba.ac.jp/guidebooks/>

Q. 出願するにはコンテストや競技会での入賞歴や何らかの資格取得、検定合格などが必要ですか

A. 必要ではありません。

AC入試は資格や実績そのものを評価する入試ではありません。資格や実績の有無にとらわれず、これまでの自分の活動（研究、課外活動、趣味など）における問題の発見と解決の過程を具体的に提示することが大切です。問題解決の過程で取得した資格や合格した検定、入賞歴などがあれば自己推薦の資料に加えることはできます。その資格や検定が自分の活動の中にどう位置づけられるのか、きちんと説明できることが大切です。ただし、体育専門学群では運動競技の実績を、他の資料とともに重視して評価します。競技の実績がまったくなければ合格はきわめて困難です。

Q. SSH※などの共同研究の成果を自己推薦に利用できますか

※スーパーサイエンスハイスクール

A. 利用してもかまいません。

ただし、その共同研究において志願者本人が担当した部分や、志願者本人の具体的な貢献を、自己推薦書の中で明確に示す必要があります。他のメンバーが担当した部分や、他のメンバーが成し遂げた問題解決とはっきりと区別して、志願者本人の問題発見・解決能力が読み取れるように提示してください。

Q. 国際科学オリンピックでの成績は評価の対象になりますか。

A. AC入試は実績そのものを評価する入試ではありません。

志願者の活動における問題発見・解決の過程を重視して評価します。一方、国際科学オリンピック特別入試は実績を重視して評価します。

Q. 高校の成績（評定平均値）は重視されますか

A. 主として、入学後、支障なく学習できるかどうかを確認するために使われます。

合格者には、結果的に成績がよい人が多くなっていますが、出願要件ではありません。

Q. なぜ、募集時期、選考時期が早いのですか

A. AC入試は、志願者の継続的な活動における問題発見と解決の過程を評価する試験であり、試験当日の偏差値的学力を評価するわけではありません。

したがって高校3年の早い時期でも適切な選抜が可能であると考えられます。「早く進路を決めて、入学までの時間でさらに自分の勉強を進めたい」という志願者を求めているのです。また、早めに実施することで、大学入学共通テストや個別学力検査への影響を最小限にできると考えています。決して早く学生を確保することが目的ではありません。このことは、合格者数が必ずしも募集人員を充たさないことから分かるものと考えています。

Q. 必ず募集人員どおりに合格者が決まりますか

A. いいえ。

ふさわしい志願者がいないと判断した場合は、合格者が募集人員より少なくなり、欠員分は個別学力検査等（前期日程）に振り替えられます。一方、AC入試で募集人員より多く合格することもあります。その場合でも、個別学力検査等（前期日程）の募集人員が減ることはありません。

Q. 筑波大学の推薦入試等と併願できますか

A. 推薦入試や個別学力検査等（前期・後期日程）と併願できます。

国際科学オリンピック特別入試、国際バカロレア特別入試、海外教育プログラム特別入試、研究型人材入試とは併願できません。

国際科学オリンピック特別入試 Q&A

Q. 出願できるのはどのような人ですか？

A. 過去3年間に、国際科学オリンピックに日本代表として選抜された人や、国内予選で好成績を収めた人などです。

詳しくは学生募集要項（6月下旬公表）でご確認ください。

Q. 選考で重視されるのはどんなことですか？

A. 予選や本選での成績に加え、明確な目的意識や計画的に学ぶ意欲、入学後に必要となる学習適応性などです。

調査書やエントリーシート、15分程度の面接などを含めて総合的に合否を判定します。大学入学共通テストは課しません。

Q. 筑波大学の推薦入試等と併願できますか？

A. 推薦入試や個別学力検査等（前期・後期日程）と併願できます。

AC入試、国際バカロレア特別入試、海外教育プログラム特別入試、研究型人材入試とは併願できません。

国際バカロレア特別入試 Q&A

Q. 国際バカロレア最終試験のスコアは何点以上で合格できますか？

A. スコアだけで合否を判定しません。

EE、TOK、CASの成果などに関する提出書類や、面接・口述試験と併せて総合的に判定します。

Q. TOEFL等、英語の4技能検定試験の結果も提出するのですか？

A. 英語を履修していれば必要ありません。

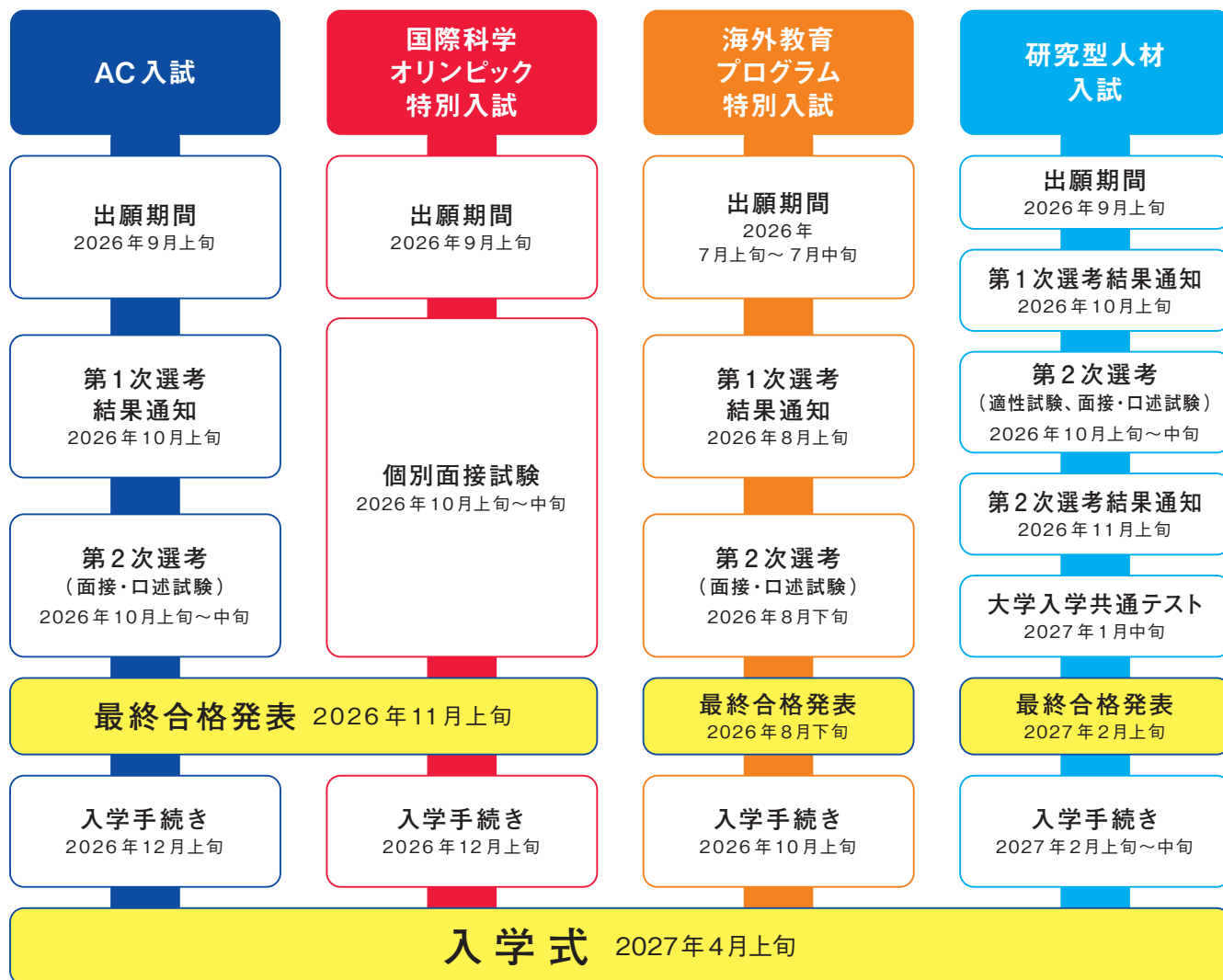
履修していない場合の扱いは教育組織ごとに異なりますので、募集要項でよく確認してください。

Q. 10月応募の選考方法はどのようなものですか？

A. 教育組織ごとに設定します。

小論文や実技、適性検査など、学類・専門学群ごとに異なります。募集要項でよく確認してください。

● 入学への歩み ●



*国際バカロレア特別入試(7月募集、10月募集)の日程については04ページを参照してください。

● 学生募集要項の入手方法 ●

各学生募集要項(願書)は、本学の大学入試情報サイトからダウンロードできます。

<https://ac.tsukuba.ac.jp/apply/application-guidelines/>
(HOME ▶ 受験する ▶ 入試日程と募集要項)

その他、入試に関する資料の請求方法はこちらをご覧ください。

<https://ac.tsukuba.ac.jp/guidebooks/>
(HOME ▶ 各種資料)

インターネット出願登録ページはこちらからアクセスできます。
(登録は出願期間のみ可能です)

<https://e-apply.jp/ds/tsukuba/>

入試に関するQ&Aはこちら

<https://ac.tsukuba.ac.jp/consultation/faq/>
(HOME ▶ 相談する)

2026年度
筑波大学
オープンキャンパス

<https://ac.tsukuba.ac.jp/>

実施日程

夏 2026 **7/25[±]** **7/26^日** **8/1[±]**

秋 2026 **11月** (学園祭期間中、大学概要説明のみ)

春 2027 **3月末**

実施方法、申込時期等については決定次第、本学ホームページで公表します。

その他、アドミッションセンター教員によるオンライン進学相談(大学院への進学相談を除く)や、各種進学説明会などの情報は、大学入試情報サイトでご確認ください。

